

# 復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

## 模範解答

### 【説明的な文章を読む問題】

一次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

子供たちが集まって劇をするということは、楽しい遊びであると同時に、おたがいの勉強であるということを忘れないようにしたい。

楽しい遊びであるからには、思う存分、自分が面白いと思うように、そして、人も面白いようにやるのがいい。自分だけが面白く、人にはそれほど面白くないというようなやり方、あるいは、人を面白がらせようとばかりあせって、自分はそのためにかたくなったり、したくないことをしたりするのは、たいへんまちがったやりかたである。

劇というものは、がんらい、見せる方と、見る方とたがいに力をあわせ、気もちをそろえて、そこにできあがる美しい全体の空気を楽しむものなのである。

見せる方だけがいっしょうけんめいになり、見る方はそれをただ、じょうずだとか、へたとかいって、見ているのは、ほんとうに、①子供たちの楽しい劇とはいえない。それは、いろんなよくない結果を生むはじまりである。

②劇がおたがいの勉強になるという意味は、劇にしくまれた「物語」の内容が、なにかしら新しいことを教えるばかりではない。第一に、劇というものは「話し言葉」のもっとも生き生きとした使い方、人間の表情のもっとも正しいあらし方によって、ひとつの面白い場面がつくりあげられるのだから、劇をほんとうに面白いものにするためには、どうしてもみんなが、「話し言葉」の美しさと、表情のけだかさを身につけ、それを正しく読みとる訓練をしなければならない。

美しい「話し言葉」や表情は、役者や俳優を職業とする人たちにかぎらず、すべての人間に必要なことであって、それはちようど、自然の美しい風景をながめたときと同じように人の心をひきつけ、印象づけて、こころよい感じをあたえる。

昔から、「話をしてみるとどんな人間かわかる」といわれているように、「話し言葉」や表情によって、その話そうとすることがら以外に、その人の年齢、男と女の区別、性

格、教養の高い低い、職業、またはどこの国かとか、なんの時代かまではつきりとあらわれるものである。

これだけでも「話し言葉」がどんなに大切かよくわかると思うが、「話し言葉」の美しさをいつも心がけているということは、つまり国語を大切にすることであり、劇をすることによって、劇を見せる方も見る方もこの訓練が自然にできるはずだから、君たちの熱意は、やがて、最近のみだれた国語の品位や魅力のかいふくに大きな役割をはたすことになるのである。

それと、もうひとつ。劇がおたがいの勉強になるわけは、はじめにいった通り見せる方と見る方が、力をあわせ、気もちをそろえることが大事なので、そのためには、劇を舞台にかける前から、なるべく、いろいろなめんどろな仕事を、みんなで分担をきめて手つだうようにしなければならない。ここから、劇という仕事のはじめから終りまでを、仲間同志が仲間どうしらしく責任をもち、同じ目的にむかって協力する精神と、ふくざつな仕事をもっとも順序よく、むだを少なく、完全に仕上げる技術とをやしなう機会が得られるのである。これは、めいめいの立場からいえば、やがて社会に立って一人前の働きをするうえに、ひじょうな強みとなり、全体の立場からいうと、③そういう訓練のできた人々の集りからは、もっとも進歩した社会が生れるわけなのである。

（岸田國士「劇の好きな子供たちへ」より）

(1) —— 線部①「子供たちの楽しい劇」の要素として正しいものを、次のア～カから

二つ選び、記号で答えなさい。レベル9・10

- ア 思う存分、人を面白がらせること優先してやりたいようにやること。
- イ 思う存分、人がどう思うかは関係なく自分のやりたいようにやること。
- ウ 思う存分、自分も人も面白いと思うようにやりたいようにやること。
- エ 劇を見せる方が全力で力を合わせてできあがった空気を楽しむこと。
- オ 劇を見せる方も見る方も気持ちをそろえて全体の空気を楽しむこと。
- カ 劇を見せる方も見る方も完成した作品と一緒に見ながら楽しむこと。

↑「劇を見せる方」が含まれていない。

線部①よりも前の部分を踏まえると、選択肢の赤字の部分が間違っていることがわかる。

ウ

オ

(2) —— 線部②「劇がおたがいの勉強になる」ことについてまとめた次の文の空欄に合うように本文中の語句を使って答えなさい。

レベル 11・12

劇を見せる方も見る方も、C（十字以内）を作り上げることを通じて、D（二十五字以内）を自然と身に付けることができる。

【解答例】

D			C					
り	正	「	ほ	ん	と			
方	し	話	う	に	面			
	い	し	に	白	い			
	使	言	劇					
	い	葉						
	方	」						
	や	や						
	読	表						
	み	情						
	と	の						

- ① 傍線部以降に「話し言葉」と表情に関して述べられている部分に着目する。(第5～8段落)
- ② 空欄の直後の表現をヒントにして空欄に合うように本文中の言葉を組み合わせる。

(3) —— 線部③「そういう」が示している内容はどのようなことか。次のア～エからも適切なもの一つを選び、記号で答えなさい。

- ア 劇を見せる方も見る方も、「話し言葉」の美しさを常に心がけ、国語を大切にすること。
- イ 劇を見せる方も見る方も、効率よく仕事が進むように工夫して仕事を分担する力を養うこと。
- ウ 仲間同士で力を合わせ、様々な目的を共有しながら順序よく仕事をやり遂げる力を養うこと。
- エ 様々な仕事を分担し、協力し合いながら効率よく万全な状態の劇に仕上げる力を養うこと。

これまで劇について述べてきていたが、最後の段落では、「劇」を通してどのようなことができるのかについて述べているため、劇に触れた選択肢は適切ではない。

ウ